

★シラバス(学習の手引き)★

令和 5 年度版

Abashiri Keiyo High School

教科	地理歴史科	学科	普通科	学年	1	年	必履修科目
科目	歴史総合			単位数	2	単位	
使用教科書	私たちの歴史総合(清水書院)			副教材	ダイアログ歴史総合(第一学習社)		

学校教育目標	高い志を立て、自己を練磨し、社会に貢献する人間の育成(立志・練磨)									
育成を目指す 資質・能力	基盤的学力	◎	協働力	○	論理的思考力	○	傾聴力	○	課題解決能力	○
	表現力	○	判断力	○	考察力	◎	情報活用能力	○	コミュニケーション能力	○
	基礎的読解力	◎	創造力		洞察力		継続力		行動力	
	自己管理能力		共感力		自己実現力		復元力(折れない心)		自己肯定感	
学習の到達目標	・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と日本を広く相互的な視野から捉え、近現代の歴史を理解する。									
	・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。									
	・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察する力を養う。									
	・多面的・多角的な考察を通して涵養される日本国民としての自覚や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。									

★評価規準	A:十分満足できる	B:概ね満足できる(基準)	C:努力を要する
★単元ごとの評価規準 第2編 近代化と私たち			
★4月～7月下旬までの学習内容			
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか	
・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート	・行動観察 ・ワークシート ・振り返りシート	

【学習計画】

月	単元	学習の目標(評価の観点:評価方法)
4	・ガイダンス ・第2章 結びつく世界と日本 (1)18世紀までの世界 ①近世の日本と世界 ②18世紀の中国とアジア貿易 ③18世紀のイギリスとアジア、アフリカ	18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。
5	(2)工業化と世界市場の形成 ④産業革命による経済発展と社会の変化 ⑤世界市場の形成とイギリスによるアジア進出 ⑥日本の開国とその影響 第3章 国民国家と明治維新 (1)国民国家と立憲体制 ⑦二つの市民革命と近代民主主義社会の成立 ⑧国民統合とナショナリズム ⑨明治維新期の日本と世界 ⑩近代国家への移行と憲法の制定	18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。
6	(2)帝国主義とアジア、アフリカの変容 ⑪列強による帝国主義 ⑫帝国主義がアジア、アフリカにもたらしたもの ⑬日清戦争とその影響 ⑭日露戦争 第4章 近代化と現代的な諸課題鉄道建設	列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。
7	第1章 生活や社会の変化を読み取ってみよう 第2章 第一次世界大戦と大衆社会 (1)第一次世界大戦と国際社会 ①第一次世界大戦 ②社会主義革命	世界一の商店街誕生、国際関係の緊密化と米ソの台頭、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、植民地の独立などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、国際秩序の変化や大衆化に関する問いを表現する。
		第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、第一次世界大戦の性格と惨禍、社会主義革命の意味や影響、第一次世界大戦後の国際協調体制の特徴などを、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。

★単元ごとの評価規準 第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	★8月上旬～1月下旬までの学習内容	
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか
・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート	・行動観察 ・ワークシート ・振り返りシート

自己評価	実際評価
観点	観点
① ② ③	① ② ③

8	③国際協調体制 ④アジアの民族運動 (2)1920年代の世界と大衆の時代の到来 ⑤大衆の政治参加 ⑥女性の社会参加	大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、第一次世界大戦後の社会の変容と大衆社会の形成と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。
	⑦大衆社会の形成 第3章 経済危機と第二次世界大戦 (1)国際協調の挫折と2度目の世界大戦 ⑧世界恐慌 ⑨ファシズムの台頭 ⑩日本の大陸進出 ⑪第二次世界大戦	世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策、第二次世界大戦の勃発などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動揺や第二次世界大戦の勃発の背景に関する事柄を理解する。
10	(2)世界大戦がもたらしたもの ⑫アジア太平洋戦争 ⑬戦争が変えた人々の暮らし ⑭戦後世界の新たな枠組み ⑮敗戦後の日本とアジア ⑯冷戦下の東アジア	アジア太平洋戦争の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。
	第4章 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 ナショナリズム	統合と分化の観点から、ナショナリズムと国際秩序の変化や大衆化を主題に設定し、諸資料を活用して追究したり解決したりする活動を通して、主題について多面的・多角的に考察、表現し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。
11	第1章 生活や社会の変化を読み取ってみよう	“多国籍軍”のサッカーチーム、高度情報通信、多様な人々の共存、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化に関する問いを表現する。
	第2章 冷戦と世界経済 (1)冷戦と国際政治 ①脱植民地化とアジア、アフリカ諸国 ②冷戦下の地域紛争 ③先進国の政治と社会運動 ④核兵器の脅威と核軍縮	脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。
12	(2)世界経済の拡大と日本 ⑤西ヨーロッパ、東南アジアの地域連携 ⑥戦後の日本とアジア諸国との関係 ⑦高度経済成長	西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。
	第3章 世界秩序の変容と日本 (1)市場経済の変容と冷戦の終結 ⑧石油危機と価値観の転換 ⑨アジアの成長 ⑩冷戦の終結	石油危機、アジアの諸地域の経済発展、冷戦の終結などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。
1	第3章 世界秩序の変容と日本	